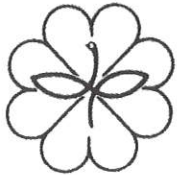


みんじん堺

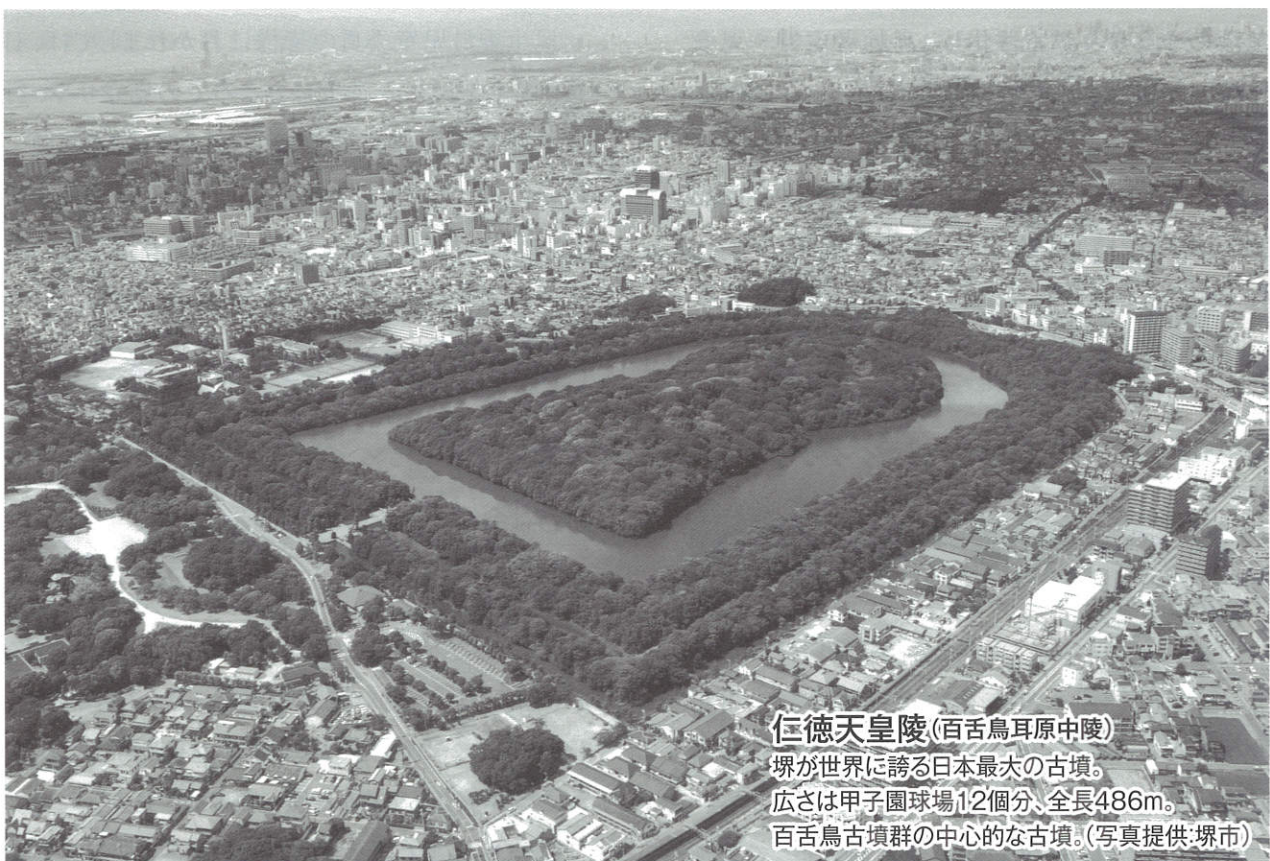
第 58 号

発行 平成 28 年 6 月
発行 堺 市民 生 委 員 会
者 児 童 委 員 連 合 会
住 所 堺 市 堺 区 南 瓦 町 2 番 1 号
電 話 072-232-5420
発 行 者 堺 市 民 生 委 員 会
責 任 者 児 童 委 員 連 合 会
会 長 加 納 剛



支え合う心で広がる福祉の輪

特集:「見守り、声かけ、つなぎ」の活動について



仁徳天皇陵(百舌鳥耳原中陵)
堺が世界に誇る日本最大の古墳。
広さは甲子園球場12個分、全長486m。
百舌鳥古墳群の中心的な古墳。(写真提供:堺市)

素敵な思い出

今年には3年に一度の一斉改選の年であり各校区での準備もすでに始まっています。私事で恐縮ですが、30年前電話一本で委員長宅へ呼ばれ本人の意思に関係なく委嘱状を渡されたこと、昨日のように思い出されます。

民生・児童委員の活動はいろいろな思い出を残して過去から現在・未来へと時々刻々と流れていきます。30年間の民生・児童委員活動では地域の方、行政の方、委員の方などたくさんの方との交流を通

じて多くの思い出が「脳みそ金庫」に納まりました。大変感謝しております。

任期もあと半年、日常の見守り活動、研修会の参加、各種相談活動など、大変忙しくなっています。

相手の目線で真剣に聞く態度、関係機関への的確な対応が求められる民生・児童委員活動、そのためにも日々研鑽し互いに資質を高めたいものです。

連合会副会長 和歌 宏允



就任のごあいさつ



このたび、堺市健康福祉局長に就任いたしました小椋でございます。民生委員児童委員の皆様には、日頃より地域で様々な生活課題を抱える市民の良き相談者・支援者として活動をしていただき、心より感謝申し上げます。

さて、少子高齢化や核家族化の進行に伴い、地域のつながりが希薄化し、高齢者虐待や児童虐待の増加など、様々な課題が顕在化してきております。

そのような中、市では、平成29年度から実施する「介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）」の取組みを進めるとともに、今年度からは、子育てと介護の両方を担う「ダブルケアラー」と呼ばれる方々に対する相談窓口を新たに

堺市健康福祉局 局長 小椋 啓子

設置し、必要なサービスや専門機関へつなげるなど、介護者への支援の強化に取り組んでまいります。今後も、住み慣れた地域で“つながり”をもちながら、安心して住み続けていただけるよう、「地域全体で支え合う福祉の仕組みづくり」に取り組み、地域福祉をより一層推進していく所存でございます。

民生委員児童委員の皆様におかれましては、日頃から、市民に一番近いところでの見守りや、行政や関係機関等への橋渡しとしての役割を担っていただいております。今後より一層のご活躍をご期待申し上げますとともに、引き続き、本市の地域福祉の推進にお力添えを賜りますよう、よろしくお願いいたしまして、就任の挨拶とさせていただきます。



ごあいさつ

平成28年4月1日付けで、堺市社会福祉協議会の事務局長に就任しました、中野でございます。

3月末までは、堺市で健康福祉局長として福祉に携わっておりましたが、今年度から、より現場に近いところで仕事をさせていただくことになりました。微力ではございますが、堺市の地域福祉の向上に精一杯取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

また、昨年度は、職員によるあってはならない重大な事件が発生し、たくさんの皆様にご迷惑をおかけし大変申し訳ございませんでした。

本協議会では、チェック体制の強化などについて事務改善や組織改正等を行い信頼回復に向けて取り組んでいるところであります。

堺市社会福祉協議会 事務局長

中野 博文

近年は、人口が減少し、少子高齢化が加速する中、団塊の世代が75歳となる2025年問題など対応すべき課題が多く、社協の果たす役割もさらに重要になってくると思っております。

堺市社協では行政と合同策定して3年目を迎える「堺あったかぬくもりプラン3」の推進目標である、『「ふだんの・くらしの・しあわせ」をめざし、わたしたちの“自治”と“協働”の力で、「地域生活を支えるしくみ」を充実します』を実践してまいります。そのため、何らかの援助が必要な人たちの課題について、行政だけでなく堺市民児連をはじめ各種の福祉団体や、地域で活動されている方々と協働し、困っておられる方々が地域で自分らしく暮らしていけるように、地道に支援を進めていきたいと思っておりますので、引き続きご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会長のひとりと シリーズ ①

「身の丈に合った活動」のすすめ

堺市民生委員児童委員会 会長 **加納 剛**

堺市民生委員児童委員の皆様の日頃の熱心な活動に対し改めて感謝申し上げます。

今、私たち民生・児童委員の世界では来年に迫った制度創設百周年に大きな期待と関心が高まっています。「東京ビッグサイト」に天皇、皇后両陛下をお招きし、盛大に開催されるであろう1万人規模の百周年記念大会は、さぞや高揚感と熱気につつまれ最高の盛り上がりとなることが予想されます。

私は、多くの先輩の皆様が汗と努力で今につないでくれた制度を、しっかりと受け継ぎ発展させそして次につなぐという使命と責任について真剣に取り組んでいきたいと考えています。

さて、私たちの活動内容も時代とともに大きく変化してきました。現在の地域福祉の主な課題として、①生活困窮 ②引きこ

もりや孤立死など社会的孤立 ③虐待や成年後見など権利擁護などが考えられます。

いずれにしろ私たち活動の現場では「身の丈に合った活動」を心がけていきましょう。能力以上の無理な対応は控え、困難な事案については校区委員長や先輩・仲間にご相談することが大事だし、内容次第では行政・社協などの専門機関につなぐことも大切です。

事案の多くは話を誠実に聞いてあげることだけで問題解決することがよくありますから自信をもって活動に取り組んでいただきたいものです。

一方、この「身の丈」はいつまでも同じ高さ（能力）では残念です。日頃の活動や研修を通じて能力アップ、スキルアップに努めてください。皆さんの「身の丈」がどんどん伸びることを期待してやみません。

民生委員児童委員のみなさまへ

堺市子ども青少年局 子ども相談所 所長 **深田 仁志**

堺市は、政令指定都市となってさまざまな権限が与えられました。そのひとつに、児童相談所（子ども相談所）の設置があり、児童及びその家庭に対する相談・調査・支援・指導などを行っています。そして、児童の保護や調査のために必要と判断した場合には、一時保護も行っています。

最近、児童虐待に市民の注目が集まっています。児童虐待が重篤な事態に繋がりがやすいことから、子ども相談所としても最も力を入れている事案ではありますが、子ども相談所の役割は、養育相談、非行相談、心身障害相談など多岐に渡っています。

例えば、養育不安に関わる過程で虐待が明らかになったり、子どもの発達検査を通じて厳しかった親の子に対する見方が優しくなるなど、虐待の早期発見・早期対応ができた事例がたくさんあります。

民生委員児童委員のみなさま方は、最も身近な福祉の専門機関・相談機関として、地域の子どもの達とその家庭を見守っていただきたいと思っています。その際、虐待ではないかと感じられた場合にはすぐにお知らせください。また、養育に不安を抱えている家庭に対しては、子ども相談所に相談するように助言し、繋げていただきますようお願いいたします。



専門委員会だより

安全・安心な地域づくりを!

高齢者福祉委員会報告

平成28年は第4次3カ年計画の最終年度です。平成26年は「認知症と予防」昨年は「地域包括ケアシステム」を勉強し、地域の実情にあった実践行動推進のコーディネーターであるべきと私たち民生・児童委員が自覚しました。26.3%の高齢化率は10年後には30%と予想され、高齢者をサポートする体制が、量的質的にも抜本的に改善されることが必要条件です。そのためには「地域包括ケアシステム」の構築が最大にして最強の解決策と考えます。

医療と介護の連携を前提に、高齢者の「住まいを中心とした」生活支援、介護予防などに、地域住民が「将来の自分自身のため」との自覚を持ち積極的に係わることの必要性を自治会と連携し推進する役割を担っています。

社会的弱者である高齢者や障害のある方も、安全で安心して生活し続けることができるための権利擁護の確立が必要です。成年後見制度や市民後見人の後見活動をさらに広く利用できる社会作りをめざさねばなりません。平成28年は社会的弱者の権利擁護を勉強の中心とする計画です。

(委員長 藤井 紘一)



「精神保健福祉の状況」 薬よりも対話が

障害者福祉委員会報告



障害者福祉委員会の研修で、大阪人間科学大学教授小出保廣先生より「精神保健福祉の状況」について学んだことを報告します。

日本は精神科病床が多いと永年言われ続けているが、なお32万床あり世界の病床数の5分の1を占めている。また、平均在院日数も298日と諸外国の50日に比べかなり長い。

他国の、かかりつけ医制度（病歴、生育歴を知る）、人権意識・受け皿（精神保健センターなど）・地域ケアがしっかりしていることがその差である。医師、看護師、ホームヘルパーが訪問で支援していくACT事業があるが、日本でもこのモデル事業が始まっている。

フィンランドでは、薬を使わないで対話方式で治っていく人が34%みられている。薬を飲むよりも関係性が大事であることが判明されている。

日本では地域のケアにまだお金がかけられていない。居住、労働の支援があり、日中に行く場所が必要である。必ず地域に戻ってくる障害者をどのようにして支えるか、本人の希望をかなえることができるか、共に検討していくことが共生する社会の課題です。

周囲の理解が暮らしやすい社会になり、就労に繋がると思います。

(委員長 信田 禮子)

高齢者等に対する 特殊詐欺について

生活福祉委員会報告

平成28年3月3日午後2時より、福社会館6階ホールで、生活福祉委員会の全体研修を行いました。

テーマは「高齢者等に対する特殊詐欺について」大阪府警察本部の府民安全対策課、防犯総括第二係、生活安全指導班の3名の方々より、振り込め詐欺などの犯罪の実態について、寸劇を交えてお話いただきました。後半では大阪府堺警察署生活安全課防犯係の大西勇紀巡查部長より、特殊詐欺の実態や警察の取り組みについてお話いただきました。

高齢者の振り込め詐欺のテーマについて研修を受けて私は地域間での対策の必要性を感じました。ひとり暮らしの高齢者自身だけで防ぐには限界があり、地域間での呼びかけで未然防止に取り組む必要があると思いました。普段とは異なった電話、訪問があった際に、周辺住民で相談できる体制を少しずつ作ることが被害を防ぐことを可能にするのではないかと思います。

(委員長 野村 治司)

早期発見・早期対応

児童福祉委員会報告

桜の花が満開の小学校の入学式、ピカピカの一年生です。中学校の入学式、少し大きめの制服に緊張した様子がとても可愛く、心暖まる一日でした。

両親の愛情にはぐくまれ、すこやかに育ち希望に胸ふくらませている子どもがいる。一方、子どもへの虐待やいじめなど心を痛める悲しい事件が多発しています。

核家族化、地域のつながりの希薄化、共働き家庭の増加、兄弟姉妹の数の減少など、子どもが育つ環境が年々変化しています。子どもへの虐待、

いじめなどは早期発見・早期対応が重要です。

私たち民生・児童委員としての役割は関係機関や学校、家庭や地域と連携し各々の機能を発揮し取り組むことが何より大切であると思います。

堺市子ども、子育て支援事業計画では

“子どもが健やかに育ち学ぶまち・堺”

～みんなで子育てしよう～

をスローガンにしています。

安心して子どもを生み育てることができる町、堺の実現をめざして私たち民生・児童委員はできる限り協力したいと思います。

(委員長 松岡 淳子)

これからの 主任児童委員の動きかた

主任児童委員会報告

近年、少子化や核家族化に伴う育児不安や子育ての孤立に加えて、虐待、いじめや不登校、少年非行など、支援を必要とする子どもや家庭をめぐる問題が複雑・深刻化しています。その中、平成6年に主任児童委員制度が創設され、現在、各小学校区に1名ずついます。

活動は、乳幼児健診や登下校、校区のイベント、子育てサークル、保育所や学校園の行事での見守り、読み聞かせや子どもの居場所作り、自治会活動、PTA活動などの各委員の自主活動での見守りが中心です。そして、子育ての支援や児童健全育成を個別に支援している民生・児童委員と連携協力して進めています。さらに保育所や学校園、子育て支援課、社会福祉協議会などの関係機関とも連絡を取りながら子どもの健やかな成長を図っています。また、児童福祉委員会と協力しての「一日里親」「子ども家庭フォーラム」の開催もしています。

これからも、見守りし、情報を収集して関係機関に繋げ、支援の輪を広げていきたいです。

(主任児童委員 堀内 寛立)

特集 「見守り、声かけ、つなぎ」の活動について

担当校区では、福祉課題が多様化し、しかも、社会的孤立状態にある人々が増加しています。また、支援を必要とする人々を発見しにくくなってきています。今回、特集に「見守り、声かけ、つなぎ」の活動を取り上げ、虐待の深刻化や孤立死を防ぐために、地域二一ズの発見や気づきをどのように支援につなげていくかを考えるきっかけとしたい。

見守りの思い出

北区 北八下校区 吉田 正治

私が見守りを始めたのは、今から10数年前のことでした。最初は2人で始めました。すぐに、近所のかたが「子どもが学校に行っているから」と言って見守り活動に参加していただき感謝の気持ちでいっぱいでした。

児童の中には、おとなしい子やいたずらな子、さまざまおられます。学校までわずか20分位ですが、いろいろなことがありました。時々、児童も緊張するのか「トイレに行きたい」と言ってきます。通学路にある工場や老人ホームにお願いして、お借りします。ある日、学校へ送った帰り、老人ホームに刃物を持った男が侵入した事件があり、児童を連れていた時でなくてよかったと胸をなでおろしたこともありました。

このように、日々いろいろな出来事や出会いがあります。高校生や中学生になっても、登校途中に声をかけてくれます。成人して家庭を持った子も出会うと、顔や名前まで覚えていて挨拶をしてくれます。こんな時はとてもうれしく目を細め笑っています。

現在、足が不自由になった私ですが、今も、元気な児童たちに会いに集合場所に行きます。



雨のなか 気をつけて

やさしさ、思いやりをこめて

美原区 黒山校区 天見 久子

小学校児童の登下校の見守りを始めて8年程になります。

登校時の児童との挨拶の清々しさ、そして下校時の元気な姿を見るとほっとした気持ちになります。1学期末の小学校での児童との顔合せ会においての児童からの感謝の手紙など、また卒業時には「見守りありがとうございました」などの言葉にはこみあげてくるものがあり、見守りをやっているとよかったと胸が熱くなります。



楽しく なごやかに

また、私の担当地域では、男性が比較的多く当初なぜかなかなか受け入れてもらえないことが多かったが、幾度となく訪問している間に、心が打ち解け耳を傾けてもらえるようになったことも多々ありました。今では、「いきいきサロン」「ふれあい喫茶」「ふれあい昼食会」などにも参加してくれるようになり、「ありがとう」「楽しかったよ」と帰り際に言ってもらえるようになりました。

今後も、地域の皆さん方に思いやりのある、そしてかゆいところにも手が届くような民生・児童委員としての活動に取り組んでいきたいと思えます。

「見守り、声かけ、つなぎ」の活動について

特集

日常活動の心づかい

夫味 櫻 堺区 少林寺校区 八田 益雄

4月7日付の朝刊に掲載されていた記事を見て大変驚きました。

兵庫県加東市に住む老夫婦で認知症の妻(79)が、看病疲れの夫(82)に絞殺されるという事件です。夫は数年前から「要介護」の認定を受けるために役所に30数回も相談に行っているという。ちなみに家族には、病弱の50歳の息子も同居している。

この記事を読んで民生・児童委員として、平日頃の見守りの重大さ、行政との連携に、身が引き締まる思いがしたのは私だけでしょうか。家族にとって、残り少ない余生を互いに、いたわり合い励まし合いながら送りたいかどうかと残念でたまりません。プライバシーの侵害が取り沙汰される現代社会で、個人情報共有するのは難しく、秘密厳守をモットーとする、大変な役を仰せついているなど驚愕するばかりです。

確かに、当校区も「少子高齢化」が進み、高齢の方が増えています。かつて賑わった商店街や個人商店も後継者問題などで閉店、各戸の門燈だけでは不用心なほどです。そんな中、援助を必要としている人は近くにいないかと、目を配る自分の活動も、少しは地域で役に立つのかと思うしだいです。



「見守り、声かけ、つなぎ」の活動を通して

中区 土師校区 嵐岡 いづみ

土師校区では、平成4年に、これからの高齢化社会を迎えるにあたって、地域での助け合い見守りが必要不可欠であるという思いで、自治会



役員、民生・児童委員会が中心になって土師校区ボランティア部が立ち上げられました。

現在は、女性の民生・児童委員6名、19名のボランティア部員の25

名による「見守り、声かけ活動」の訪問がそれ以来、毎月続けられています。地域の花屋さんを用意してくださる季節の花束を持って、今は約95名のひとり暮らしの高齢者の方々のお宅を訪問しています。毎月の訪問日には、ボランティア会議があり、訪問した方々の様子を担当ボランティアが発表し、お互い共有しています。また社協や第二地域包括支援センターの方から、活用資料や情報を提供していただいて、訪問の時にお伝えしています。

訪問回数が重なると、顔も覚えていただき、少しずつ会話が弾みます。体調が悪く、つらそうな顔をされる時は心配になりますが、日常の様子をイキイキ話され、笑顔をされると私たちもうれしくなります。生活環境も見えてきます。困っていることも少しずつ話され、その対応のお手伝いもできるようになりました。季節の花束を届けながら「見守り、声かけ活動」を続けることの大切さを実感しています。また、一人ひとりの小さな力が、人とのつながりを生み出しています。そのつながりを大切にしながら、高齢者の方々が、安心して暮らせる地域になることを願っています。

特集 「見守り、声かけ、つなぎ」の活動について



意見交換・情報の共有

東区 日置荘校区 坂本 昭

民生・児童委員を拝命して8年4ヶ月、振り返ってみますと、この1～2年で活動内容が大きく変化したように思います。特に高齢者虐待、障害者虐待、児童虐待、そして高齢者の認知症問題と複雑多岐になっています。

校区全体の活動内容を報告します。校区は6町会あり、17名（男性9人、女性8人）の構成です。

(1) お元気ですか訪問

対象者は各町会の高齢者5名。ボランティアの皆様のご協力を得て1人当り月に約5回の訪問、声かけを行う。この内容を毎月の民生・児童委員会議に持ち寄り意見交換、情報の共有を行う。この会議の場には東第一包括の所長、看護師、社協東区事務所の係長が出席、いろいろ助言や情報をいただいている。他の人々への声かけ見守りも大切にしています。

(2) ケア会議

東第一包括の所長の呼びかけで行われる。医師、地域住民、老人施設などからの情報をもとに、所長、看護師、老人施設関係者、行政、担当民生・児童委員、対象者の家族を交えて意見交換を行い今後の方針を決めている。

(3) ふれあい食事会

ひとり暮らし高齢者対象、各町会、ほぼ月に1回、6町会で年間約50回、延べ1,700人の参加。

ご近所との挨拶・会話が第一歩

西区 福泉上校区 北野 和夫

今から6年程前の真夏、我が家の近くに住む、60歳のひとり暮らしの男性が亡くなりました。死後一週間以上も誰にも気づかれませんでした。気づいてくれたのは牛乳屋さんでした。牛乳ビンが消費されず残っており、郵便物があふれている、おかしいと思い私に伝えてくれました。

まず彼の家を訪ね、牛乳屋さんの言葉を確かめ、緊張しながら、西地域包括支援センターへ電話連絡しました。センターから西堺警察署へ連絡し、男性の姉を含む関係者が集合しました。現場確認のため当家の玄関へ近づきましたが、縁側のガラス戸とカーテンとの間に大きなハエが飛び交い、悪臭がたち込めていました。後は支援センターと西堺警察署にまかせました。孤立死です。

我が家の近隣は近所付き合いも良い方だと思います。この事例は両親も他界し、姉妹とも疎遠になり訪ねる人もいなかったようです。昔ながらの地域でさえ、このようなことになるのですから、新興地域においては尚更でしょう。また男性は女性と比べて、他人との付き合いが不得手の人が多く、孤立化しやすい傾向があると思います。私はこの事例が起きてからすぐに周辺の新聞販売店を訪ね、新聞が溜まっていれば連絡していただけるよう依頼しました。

いつもひとり暮らしの高齢者を見守りしていますが、地域のすべてという訳にもいきません。昔から言われていることですが、ご近所との挨拶、会話が第一歩だと思っています。



「見守り、声かけ、つながり」の活動について

特集

たくさんの人や組織との かかわりの中で

南区 赤坂台校区 里見 知子

赤坂台校区では、毎月曜日のいきいきサロンと季節の行事の食事会を開催しています。地域の音楽家の指導で楽しく歌う会、古タオルで介護用雑巾を縫う会、短時間で小物を手作りする会、ぶらぶら散歩の会、各月ごとの企画（体操、介護予防教室、音楽鑑賞、お楽しみ会など）と食事会の「お元気です会」などで、高齢者の方と毎週過しています。特に「お元気です会」では、保健センターや地域包括支援センターにも企画に加わっていただいています。

また「お元気ですか訪問活動」の情報交換会にも毎月地域包括支援センター、区社協のCSWの

方に参加していただき、専門機関へのつながりは充分にとれる体制になっています。

自分が年を増すたびに、高齢者の方の自尊心を大切にし、相手によりそって見守ることが少しずつ理解できてきたような気がします。

ただ民生・児童委員は担当地域のことをすべて



知りつくしている訳ではありません。まずは「気付く」ために、自治会、高齢者クラブや防災会

の方、専門機関の方から情報をいただくこともよくあります。地域のいろいろな組織や人とのかかわりの中で情報をいただき、見守り声かけが始まることも多く、民生・児童委員個人の力量だけでは充分活動できないのだと日々痛感しています。

ふれあいを大切に

堺区 三国丘校区 中畠 昭美

わが民生・児童委員会は、各町会に1名を原則にして、21名全員が「見守り、声かけ、気づき」の訪問活動を守秘義務を守り、聞き上手を大切にしながら行っています。

この活動は、校区の方々に、長年住み慣れた地域で、安心して生活していただけるようにと、福祉委員と一緒にしています。

いきいきサロンは3か所で行い、曜日、内容はそれぞれ異なっていて、「65歳以上なら、どなたでも参加してください」の呼びかけのもと、民生・児童委員で活動しています。

「ママとベビーの仲よし広場」も、月1回、親子がリフレッシュできる場として、悩みごと相談、ママ同士の交流、体操、読み聞かせなど内容豊富に取り

揃えて楽しんでいただいています。

今年の3月に、関係者の協力を得て、いきいきサロンを今までと反対の場所に1か所増設することができました。お蔭様で、多数の参加者で賑わい、楽しんでいただいています。第2包括支援センター

の方に血圧測定、健康維持、栄養バランス

の話をしていただいています。皆さん真剣に聞かれていて、その姿を拝見していると、「喜んでいただいているのだな」と開設できた喜びで感動しています。限られた

時間のなかで、笑顔で帰っていただけるようにと、来月のテーマに頭をひねっているところです。

地域の方、一人ひとりとのつながりを大切にするので、「見守り、声かけ、つながり」が、校区全体に輪となって広がるようにとの思いと、応援くださる方々に感謝します。



わが区

堺

美原

東

西

中

南

北

ア

レ

こ

ね

資質向上の パイオニアをめざして

総務委員会報告

近年、福祉関係にも大きな変化がありました。

①障害者差別解消法施行 ②子ども・子育て支援新制度（関連三法）の本格施行 ③改正介護保険法施行 ④生活困窮者自立支援法施行と変革され、それに基づいた地域における支え合いが最重要となりました。

生活課題を抱えた人々の支援、子どもに関する問題、社会的な孤立問題、高齢者の認知症問題など、数え上げれば切りがない程社会全体の情勢変化が進むなか、民生・児童委員としての躍進が求められます。

総務委員会においてもそれらの問題解決に向け、資質の向上を第一目標にしました。

住民の立場に立った相談支援を行ううえで、人格・識見の向上とそれに伴う必要な知識と技能の修得に努めました。多種多難な問題解決を図るうえで、専門機関との連携・協働を進めながら役割分担の方法と工夫の重要性に気づき自覚することです。一般市民の皆様にも民生・児童委員としての信頼と理解を得て、総務委員がその開拓者となる行動が必要な時期に来ていると考えます。民生活動の夜明けをめざして!! (委員長 寺田 明男)

認知症の人の 立場にたって

介護相談員連絡会報告

27年度の現任研修では、今までになかった認知症の人の立場からみた捉え方を、スライドを使って講義をされました。たとえば「お風呂に入りますよ、服を脱いでください」とやつぎばやに声をかけられても、本人は「お風呂」という言葉を理解することができなくて不安になっている。そこへ「服を脱いでください」と声をかけられても、パニックに陥っているので介護者の手や声が悪魔のささやきに聞こえて拒んでしまう。このような状況の中では認知症の人と介護者との溝は埋まることはなく、不安ばかりが増長してしまいます。大事なことは相手の立場に立って、気持ちを察し思いやりを持って接してやれば、お互いの意思疎通もできてくるのではないのでしょうか。

研修を終えて、認知症の人の気持ちをどのように理解したらよいか、少しは分かって来たように思います。認知症だけにかぎらず、一人ひとりが常に心がける必要があると、痛感しました。

これからの相談活動も上記のことを踏まえ、日々の活動に活かしていきたいと思います。

(担当理事 寺田 民子)

第21回 堺市民生委員児童委員大会

日時：平成28年7月6日（水）午後1時30分（受付：各区単位で12時30分より）

場所：国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）多目的ホール

第2部 講演

1. 日本の高齢者福祉の過去と未来

～誰もが安心して住み続ける街づくりを目指して～

講師：羽衣国際大学 人間生活学部 教授 大坪 勇氏

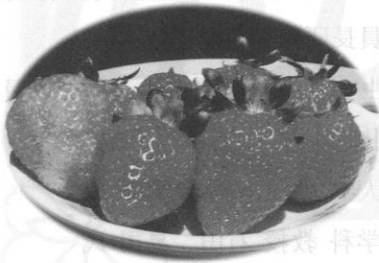
2. 堺市介護予防・日常生活支援総合事業（案）

～堺市の「高齢者の現状」と「介護予防の取り組み」について～

事業説明：堺市 健康福祉局 長寿社会部 高齢施策推進課 参事 古下 政義氏

畑仕事とストレス

大仙校区 新田 和子



あたたかなやさしい日差しが射す今日となり、身も心もやっと活気がみなぎっ

てきました。日々の生活の中で知らぬ間にストレスがたまってきます。現代の人間は、いかにこのストレスを上手にため込まず発散できるかが問題だそうです。

私は、好きな土仕事で解消しています。庭の

花々、畑の野菜とこれからの季節を充分楽しみます。昨秋に植えた、いちご、えんどう、おたふく豆が、今が盛りと花を競い、はち、蝶など、昆虫が受粉を手伝ってくれています。また玉葱、ジャガイモ、ニンニクもどんどん大きくなり、収穫を待っています。そして夏野菜、トマト、ナス、ズッキーニ、パプリカなどなど、9月には大根、白菜、ブロッコリーと、一年中、何を植えようかと胸が弾みます。

好きなこと、楽しく得意なことで、ストレスを寄せつけない日を、過せるようにと頑張っています。



挨拶

鳳校区 龍野 信隆

4年前に退職してから、小学生の登校見守り活動が続いている。ボランティアというより、己自身の規則正しい生活を維持するためである。朝7時半から8時10分頃まで、近くの交差点で子どもたちを迎える。「おはよう！」反応は3種類。「おはようございます。行ってきます。」大きな声で気持ちがいい。笑顔がこぼれて一日が楽しくなる。二番目は恥ずかしそうに小首をかしげるだけで通り過ぎるおとなしそうな男子。三番目、真っ直ぐ前を向いたまま、黙って通り過ぎる。ちょっと悲しくなる。明日は声をかけるのをやめようかな、と思う。

挨拶についての強烈な思い出がある。中学生(た

ぶん)の時に観た映画「風と共に去りぬ」の一場面である。スカーレットとレット・バトラーが結婚、子どもが生まれる。その幸せの絶頂期に乳母車を押しながら散歩。近所の人にこれ以上ない笑顔で“Good Morning.”と声をかける。

自分が幸せな時には、挨拶の声が出る。幸せでないときには挨拶の余裕がなくなる。挨拶したからと言って、幸せになるとは限らない。しかし、挨拶のできる状態にないと幸せは感じられないと思う。

挨拶することで、「幸せな一日を始められるように」と思いながら、登校見守りを続ける。

皆さんの自由投稿 お待ちしています

エッセイ、川柳、短歌、俳句、など日常の感慨や貴重な体験談を、また民生委員児童委員連合会にたいすご意見やご質問などお寄せください。

みんじれん塚 編集委員会

御霊よ安らかに

H27.11.5没 百舌鳥校区 横田 信克 様

本年度の取り組みについて

堺市社会福祉協議会 地域福祉課

課長 所 正文

民生委員児童委員の皆様には、平素から堺市社協の地域福祉活動に多大なるご支援、ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

さて本年度社会福祉協議会におきましては、社会福祉法の改正により社会福祉法人としての改革に取り組んでまいります。「経営組織のガバナンスの強化」「事業運営の透明性の確保」「財務規律の強化」「地域における公益的な取り組みを実施する責務」などをポイントに取り組んでまいります。

また昨年度に引き続き民生委員児童委員の皆様にご支援いただいております、生活困窮者への自立相談支援(すてっぷ堺)、権利擁護支援(権利擁護サポートセンター)、制度の狭間の課題を抱える人の支援(CSW)、高齢者への総合相談支援(基幹型地域包括支援センター)を強化してまいります。

さらに災害対応として、新年度に入り起こりました熊本地震においては、現在被災地の社会福祉協議会に職員を派遣するとともに、義援金を募集しています。今後は堺からも現地へのボランティア派遣を企画していきます。平行して堺で災害が起こった場合の備えとして災害ボランティアセンターの設置訓練も行う予定です。

最後に民生委員児童委員の皆様には、引き続き当会の事業へのご支援・ご協力を賜ること重ねてお願い申し上げます。



委員長の役割

研修・広報委員会報告

5月19日(木) 委員長研修を開催した。

テーマ：「校区民生委員児童委員会の運営と委員長の役割について」

講師：桃山学院大学 副学長 社会学部

社会福祉学科 教授 石田 易司 氏

○講演とグループワーク

○校区民生・児童委員長の立場で下記の2点について学習をした。

1. リーダーシップ

2. コミュニケーション

参加者88名 参加率約94%

(委員長 藤原 利夫)



月日は早いもので今年も半分が過ぎようとしています。卒業や入学、就職からはほぼ3ヶ月です。新しい環境にまだ不安や戸惑いがある時期だと思います。私自身も民生・児童委員を委嘱され3年が経過しましたが経験不足をいまだに痛感しています。今「みんじれん堺」の編集委員ですが、皆様の執筆記事を通じて民生・児童委員の活動の疑似体験をさせていただいて経験不足の私の糧としています。忙しい中「みんじれん堺」のために書いていただいた原稿をこれからもしっかりと読ませていただきます。いつもご協力に感謝しています。

民生・児童委員の皆様のお役に立つ「みんじれん堺」として今後ともより充実した内容にしてまいりますのでよろしくお願いいたします。(津田 裕己)